

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	1	百日咳	0	2
RSウイルス感染症	137	66	ヘルパンギーナ	47	65
咽頭結膜熱	11	13	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	37	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	295	295	流行性角結膜炎(はやり目)	7	7
水痘	32	51	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	102	97	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	0	0	マイコプラズマ肺炎	5	1
突発性発しん	60	40	クラミジア肺炎	0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- 手足口病

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

ヘルパンギーナ : 天草

手足口病 : 人吉

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフル	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	35	3	18	45	6	21	15	5	1	7	3	1							1
山鹿保健所	11	1		23	1	3	4	1	1	*	*								
菊池保健所	49	3	9	68	6	11	18	14	4										
阿蘇保健所			1	3									*	*			1		
御船保健所				14									*	*					
八代保健所	3	1	1	26	3	1	5	1											
水俣保健所	5			2			3						*	*					
人吉保健所			4	22	6	34	5						*	*					
有明保健所	28	1	2	46	6	7	5	5									1		
宇城保健所	5		10	30	3	9	2	6					*	*					
天草保健所	1	2	2	16	1	16	3	15											
計	0	137	11	47	295	32	102	0	60	0	47	6	0	7	0	0	5	0	1

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	137	15	18	51	32	13	7			1												
咽頭結膜熱	11		2	5	1		1		2													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47				3	8	7	8	7	3	2	4	5									
感染性胃腸炎	295	6	32	56	25	27	24	19	12	11	14	11	33	10	15							
水痘	32	1		7	6	8	3	4	2	1												
手足口病	102		10	33	24	16	7	5	1	3	1	1			1							
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	60	2	34	21	3																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	47	1	5	17	4	10	3	3	2			2										
流行性耳下腺炎	6			1	1				2			1	1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	7												1	1			1	1	1	2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	5	1		2	2																	
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1		1																			

RSウイルス感染症 注意しましょう

今週、RSウイルス感染症が増加し、先週の報告の約2倍となりました。
RSウイルス感染症は、冬季に流行する呼吸器感染症ですが、近年はこの時期から流行が見られています。RSウイルス感染症は、乳児が感染する感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにすべての小児が感染すると言われています。
特に、生後6か月以内の乳児がRSウイルスに初めてかかった場合、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を起こすことがありますので、生後6か月以内の乳幼児は、感染しないように注意しましょう。



感染経路

- ・ウイルスは咳やくしゃみのしぶきからの飛沫感染
- ・感染した人との濃厚接触や手指やドアノブ等を介した接触感染

症状

鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。多くは軽症で済みますが、重くなる場合には、咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難などの症状が見られ、場合によっては、細気管支炎、肺炎を起こします。特に、生後6ヶ月以内の乳児が初めて感染した場合、約3割が重症化するといわれ、さらに、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では、その危険が高まります。また、一度感染しても再び感染することもあります。

予防方法

- ・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない。
- ・症状のある家族はマスクをする。
- ・外出後の手洗いをきちんと行う。
- ・子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤で消毒する



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課